



No. 5  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
令和元年度第1回

一般国道175号

にしわききた  
西脇北バイパス

【再評価】

令和元年8月  
近畿地方整備局

# 目次

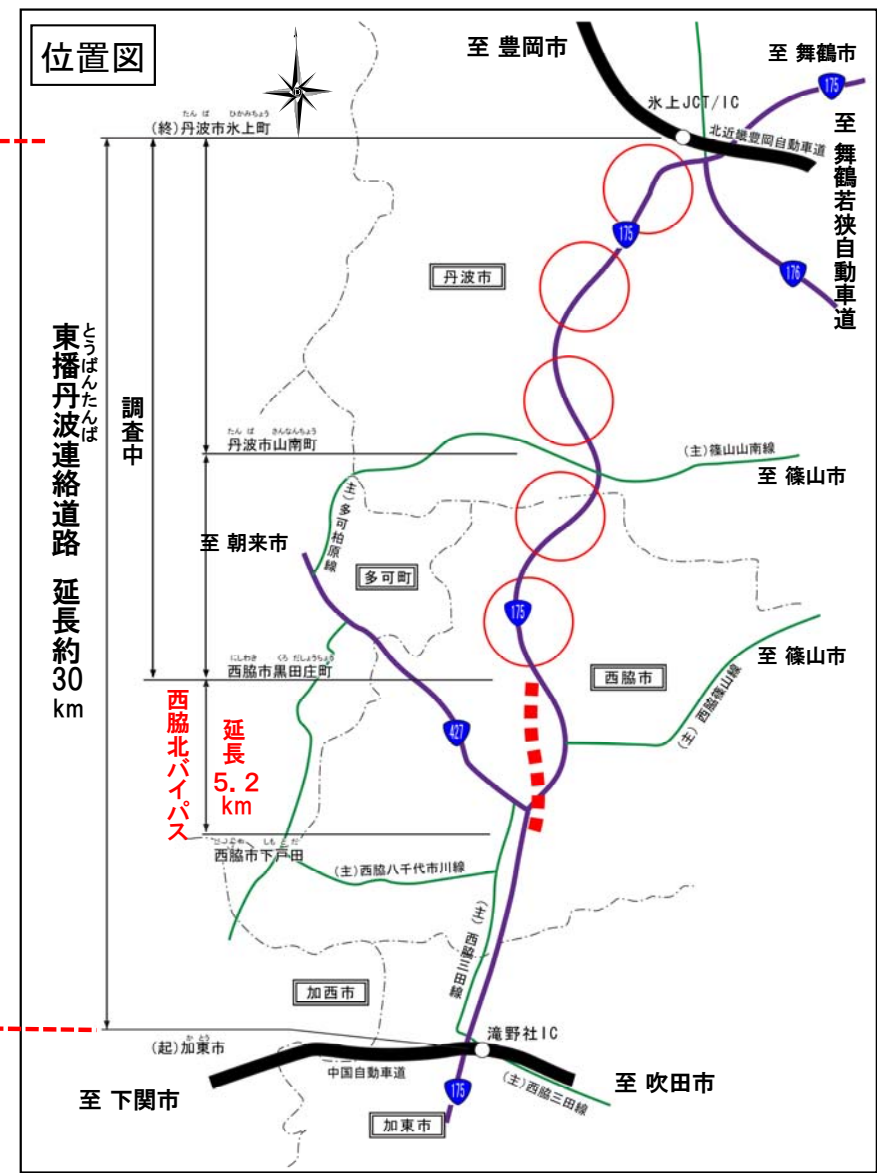
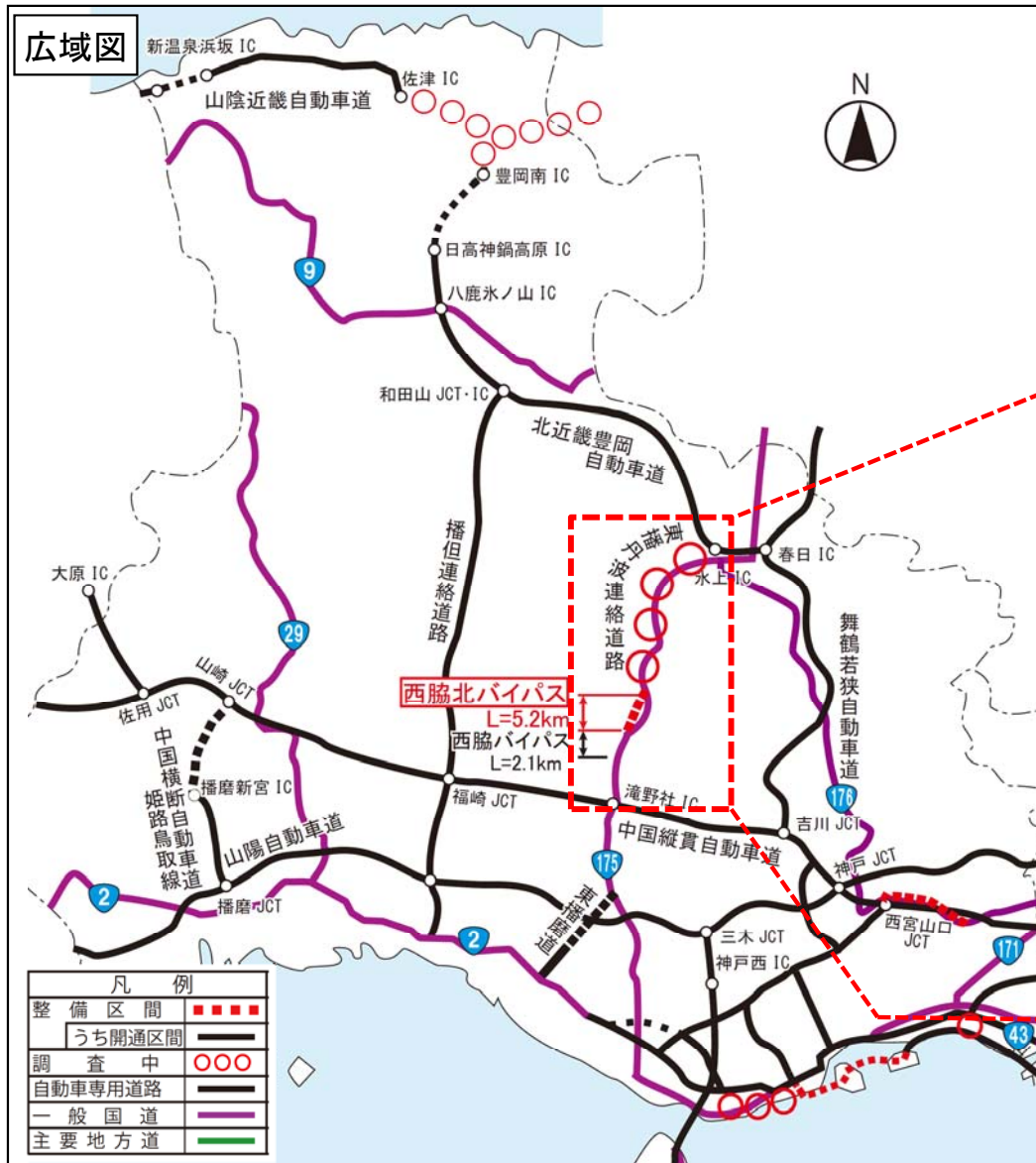
1. 事業全体図
2. 事業の概要
3. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 地域における計画等
4. 事業進捗の見込みの視点
5. 事業費の見直し
6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
7. 関係自治体の意見
8. 対応方針(原案)

# 1. 事業全体図

## 一般国道175号 西脇北バイパス

東播丹波連絡道路は、東播地域と丹波地域の連携を強化するとともに、山陽自動車道、中国縦貫自動車道、北近畿豊岡自動車道と一体となって広域ネットワークを形成する延長約30kmの地域高規格道路です。

国道175号西脇北バイパスは、東播丹波連絡道路の一部を形成し、西脇市域と東播地域及び丹波地域へのアクセス性の向上、西脇市域における国道175号の交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的とした道路です。



# 2. 事業の概要

## 一般国道175号 西脇北バイパス

### 事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 地域のアクセス改善

### 計画の概要・進捗状況

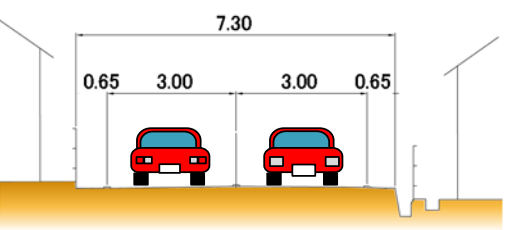
区間	(起) 兵庫県西脇市下戸田 (終) 兵庫県西脇市黒田庄町大伏
道路延長	5.2km
構造規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
標準幅員	本線部: 19.25m 副道部: 19.0m
計画交通量	18,200台/日
全体事業費	480億円
事業化	平成9年度
都市計画決定	平成10年7月
用地着手	平成12年度
工事着手	平成18年度
事業進捗率	約58%(平成31年3月末現在)
用地進捗率	約97%(面積ベース、同上)



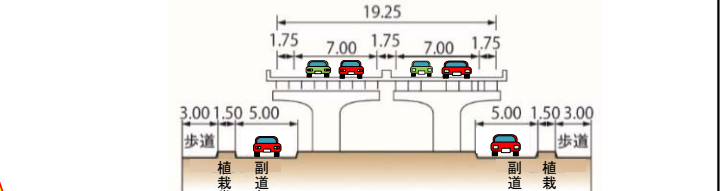
### 標準断面図

(単位: m)

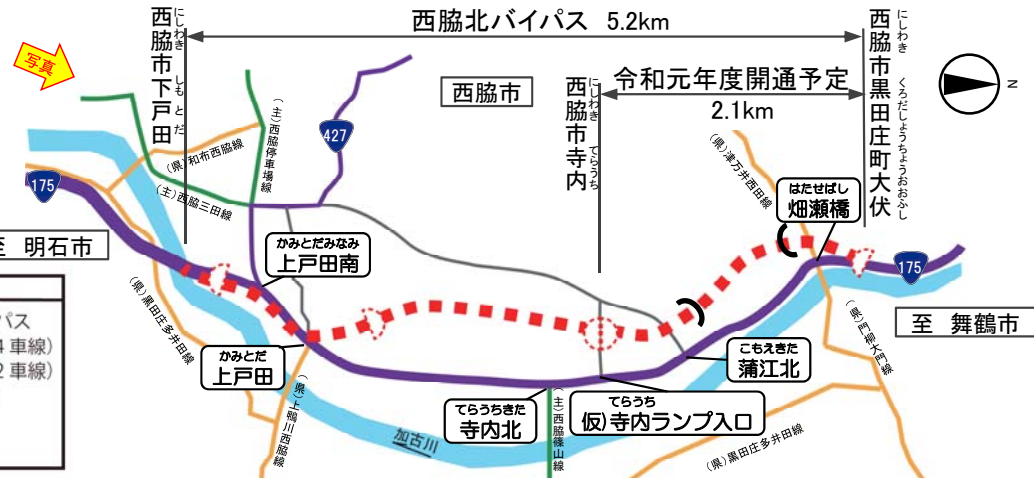
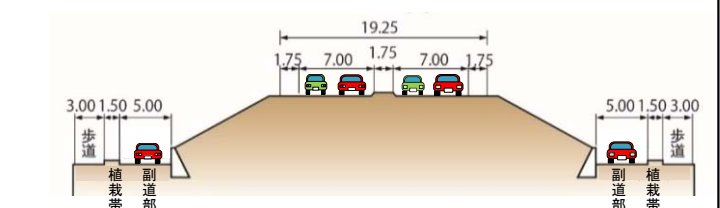
【現況(現道部)】



【高架区間】



【土工区間】



- 凡例
- 西脇北バイパス (Red dashed line)
  - 一般国道 (4車線) (Purple solid line)
  - 一般国道 (2車線) (Blue solid line)
  - 主要地方道 (Green solid line)
  - 県道 (Orange solid line)
  - 交差点 (White square)



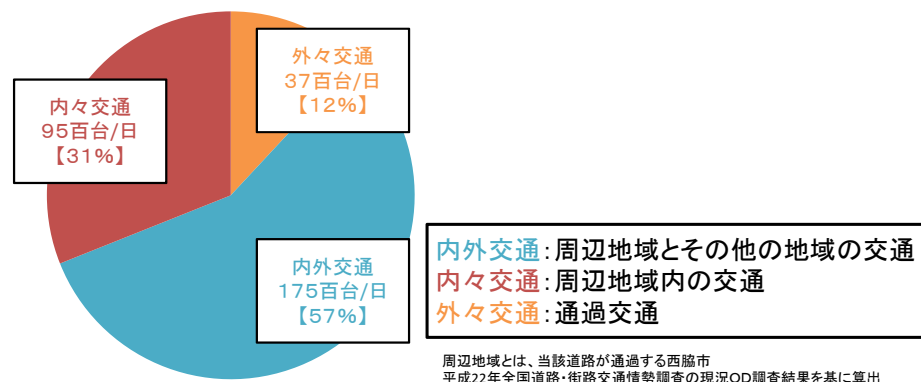
# 3. 事業の必要性に関する視点

## 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

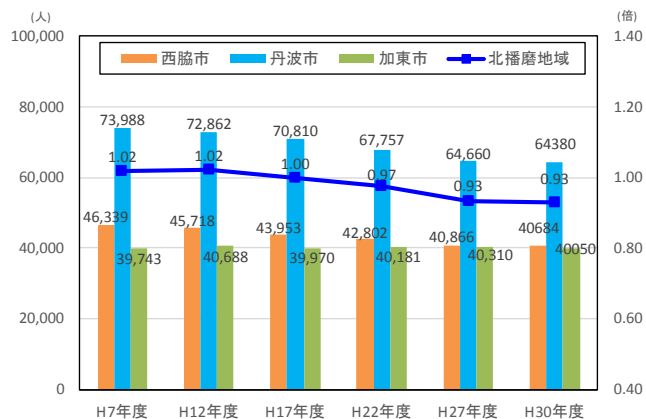
- 国道175号の交通特性は、外々交通が12%、内外交通が57%であり、広域的な交通が約7割を占める
- 西脇北バイパス周辺地域の人口は減少傾向、1世帯当たりの自動車保有台数は県平均の約1.9倍と自動車への依存が高い傾向は変わらず、社会経済情勢等の大きな変化はない



■ 国道175号(西脇市内)を通行する交通のOD内訳

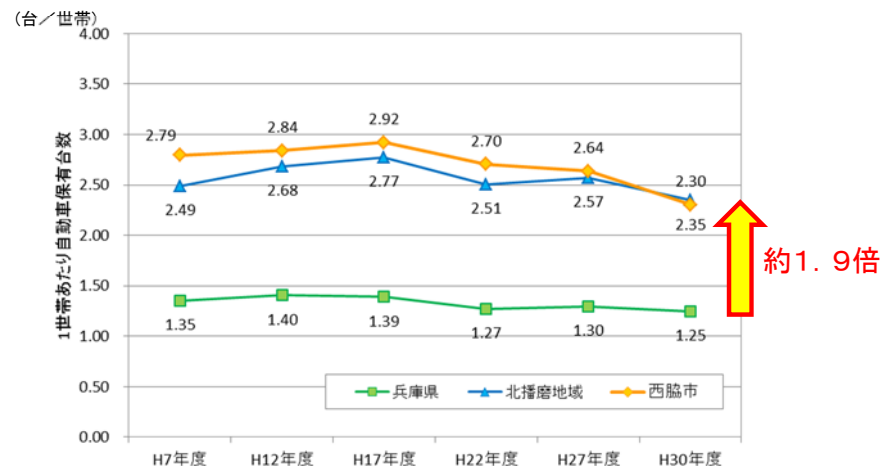


■ 西脇北バイパス周辺地域の人口推移



※西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町の5市1町  
 出典: 兵庫県統計書 西脇市HP他、北播磨地域各市町HP

■ 1世帯当たりの自動車保有台数



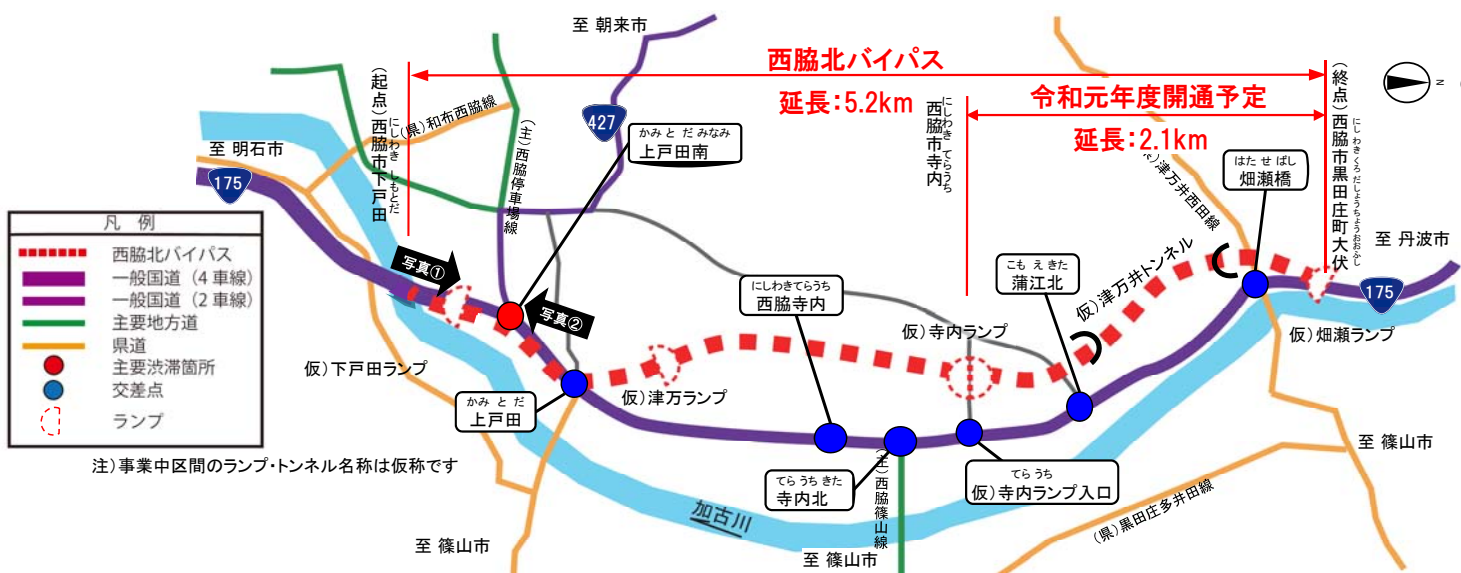
※西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町の5市1町  
 出典: 兵庫県統計書(平成30年)



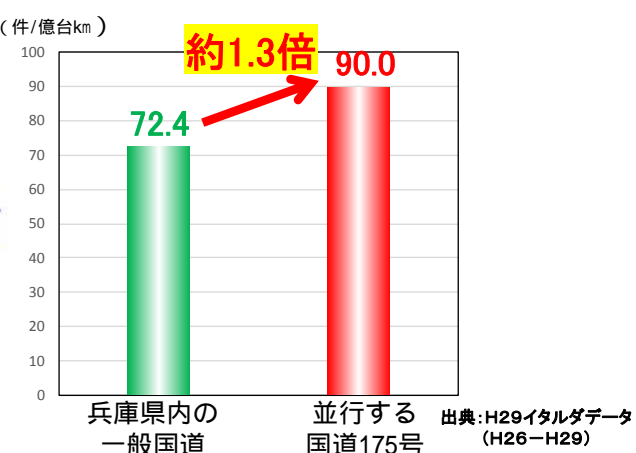
# 3. 事業の必要性に関する視点

## 2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

- 国道175号(西脇北バイパス並行区間)の死傷事故率は、兵庫県内の一般国道の約1.3倍
- 事故類型別では、交通混雑が主な原因と考えられる追突事故が約6割を占める
- 西脇北バイパスの整備により交通混雑が緩和し、国道175号の安全性の向上が期待される



■ 国道175号(西脇北バイパス並行区間)の死傷事故率

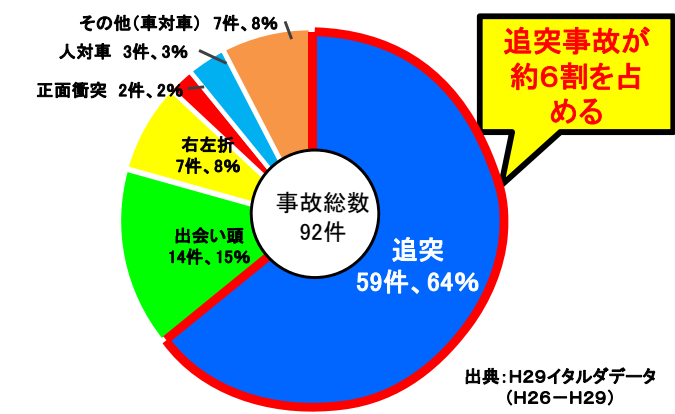


写真①: 交通混雑状況(上戸田南交差点付近) (令和元年5月14日朝 撮影)



写真②: 交通混雑状況(上戸田南交差点付近) (令和元年5月14日朝 撮影)

■ 西脇北バイパス整備区間と並行する国道175号の事故内訳



出典: H29イタルデータ (H26-H29)

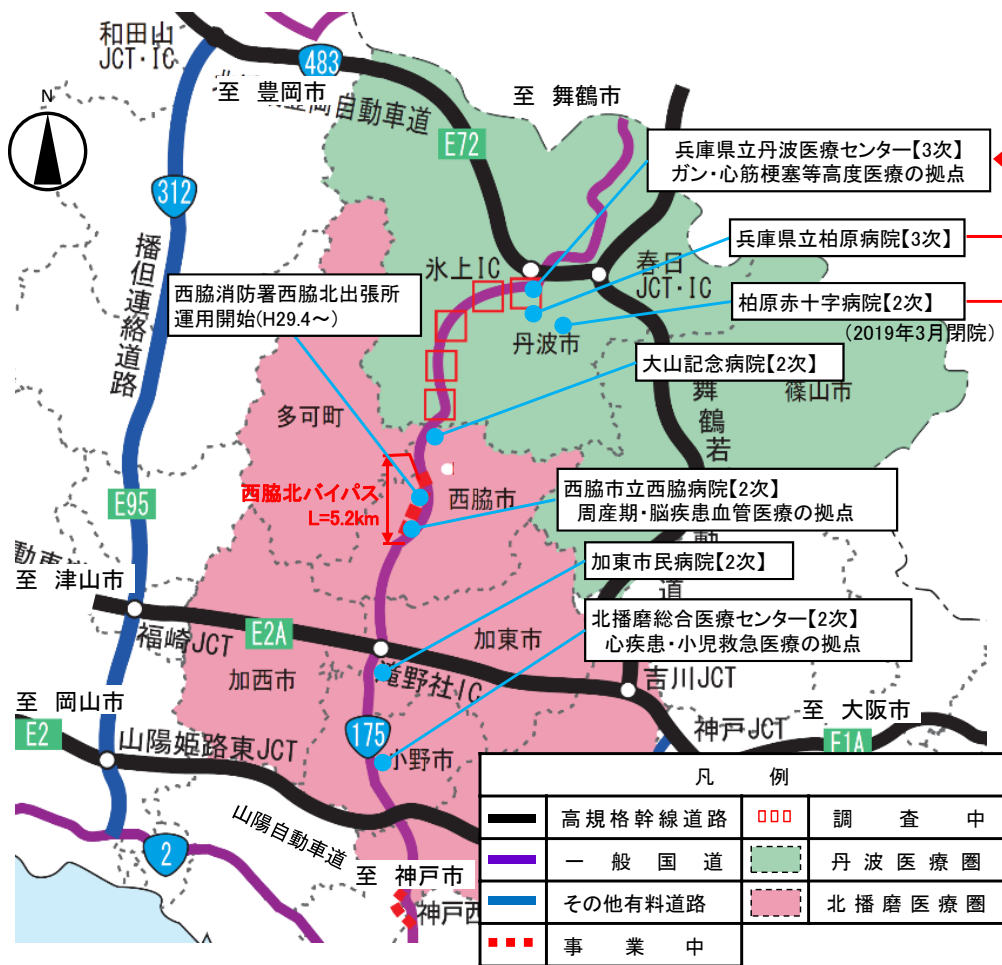


# 3. 事業の必要性に関する視点

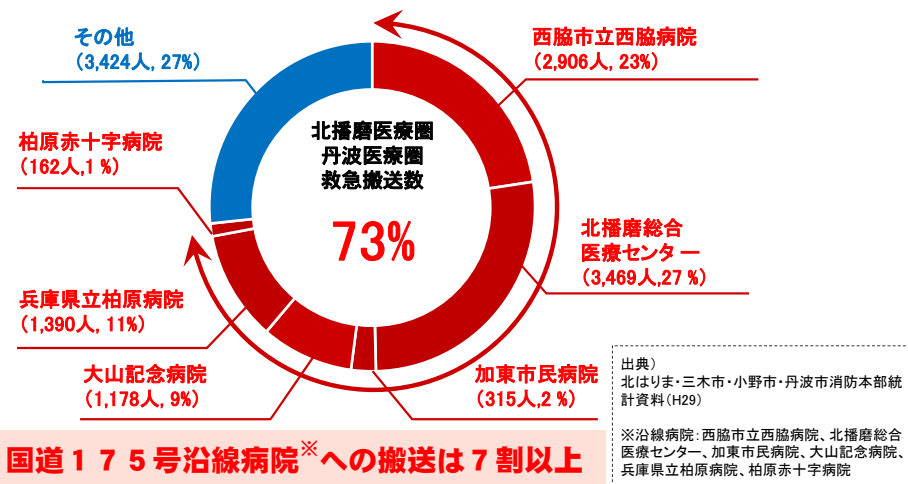
## 2) 事業の整備効果(地域のアクセス改善)

- 西脇市は北播磨医療圏と丹波医療圏が連携した広域な医療圏に位置し、当該圏域では救急搬送の約7割が国道175号沿線の病院へ搬送
- 平成29年には西脇市北部の救急医療体制の強化を図るため、西脇北バイパス整備区間に西脇消防署西脇北出張所が設置された
- 西脇北バイパスの整備により、広域な医療圏での救急医療活動への支援が期待される

■ 北播磨・丹波医療圏の医療施設立地状況



■ 北播磨・丹波医療圏の搬送割合



■ 北はりま消防組合西脇消防署のコメント(令和元年6月)

- 平成29年4月、西脇市北部の救急医療を強化するため、西脇消防署西脇北出張所の運用を開始しました。
- 国道175号は南北の重要な幹線道路であるが一部幅員が狭く、特に畑瀬橋以南では渋滞が頻発し、緊急車両の走行に大変苦慮しています。
- 国道175号の整備は、国道沿線の拠点病院へ迅速な緊急搬送が可能となり、市民の安全・安心に寄与することから、早期整備をお願いします。



■ 西脇市まで管轄外搬送する丹波市消防本部の救急車(西脇市上戸田交差点)



丹波市から西脇市立西脇病院への搬送は200人/年で近年推移 6



# 3. 事業の必要性に関する視点

## 3) 費用便益分析の結果

### ■ 便益 (B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出

### ■ 費用 (C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出

### ■ 事業全体

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	561億円	27億円	6.2億円	595億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	
	517億円		38億円	555億円	

### ■ 算出条件等

- 基準年 : 令和1年度
- 検討期間 : 50年間
- 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
- 交通量の推計時点 : 令和12年度
- 推計に用いた資料 : 平成22年度 全国道路・街路交通情勢調査
- 適用した費用便益分析マニュアル : 平成30年2月版
- 事業費 : 480億円
- 維持管理費 : 53百万円/km
- 作成主体 : 近畿地方整備局

### ■ 残事業

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	561億円	27億円	6.2億円	595億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	
	169億円		37億円	206億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

## 4) 地域における計画等

### ■ 地域における計画

西脇北バイパスは、下記の計画に位置づけあり

- 兵庫県:ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画(平成31年3月)
- 兵庫県:兵庫県交通安全実施計画(平成30年5月)
- 西脇市:第2次西脇市都市計画マスタープラン(平成31年3月)
- 加西市・加東市・西脇市・多可町(協定):北播磨広域定住自立圏共生ビジョン(平成27年11月)

### ■ 要望経緯

- 一般国道175号整備促進期成同盟会  
(昭和41年10月設立、会員:西脇市長ほか5市長及び市議長)
  - ・平成30年11月 関係機関に対し、一般国道175号西脇北バイパスの早期整備を要望
- 平成24年6月 西脇北バイパス整備促進協議会(西脇バイパス整備促進協議会より継続)  
(平成24年6月発足、会員:西脇市津万地区各町において選出された者)
  - ・平成30年10月 国土交通省等に対し、一般国道175号西脇北バイパスの早期整備を要望



## ■ 全体事業費の見直し

橋梁基礎工の変更などにより約80.4億円の事業費増が生じたため、コスト縮減を図ったものの、事業費全体で約80.0億円の増額が発生(400億円⇒480億円(約20%増))

## ■ 事業費増加の要因

- 事業進捗に伴い、地質条件を確認した結果、
  - ・橋梁基礎工の変更(①)、
  - ・盛土区間における地盤改良工の追加(②) が必要となった
  - ・トンネルの支保パターン変更及び補助工法の追加(③)、
- 事業進捗に伴い、兵庫県が現地確認を実施した結果、埋蔵文化財調査範囲が拡大となった(④)

## ■ コスト縮減の取組

- 現場打ち擁壁からプレキャスト擁壁へ変更し、コストを縮減(⑤)

(単位:億円)

No.	主な増加理由		金額	備考
①	地質条件の変更に係るもの	橋梁基礎工の変更	34.9	
②		盛土区間における地盤改良工の追加	24.1	
③		トンネルの支保パターン変更及び補助工法の追加	12.1	
④	埋蔵文化財調査範囲の拡大		9.3	
⑤	現場打ち擁壁からプレキャスト擁壁への変更によるコストの縮減		-0.4	
合計			80.0	



# 5.事業費の見直し

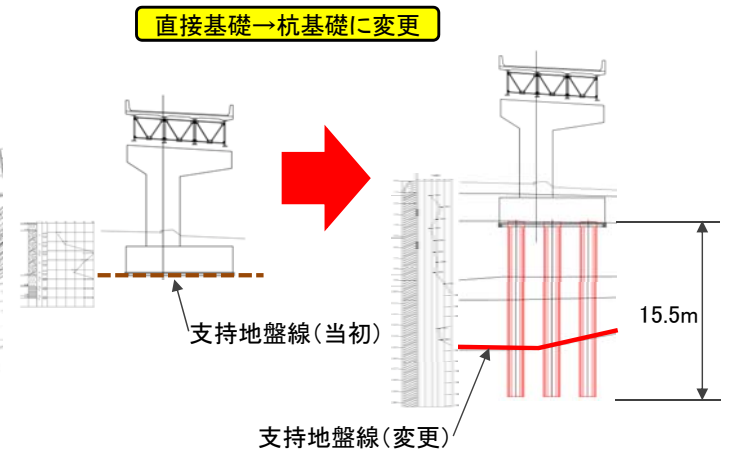
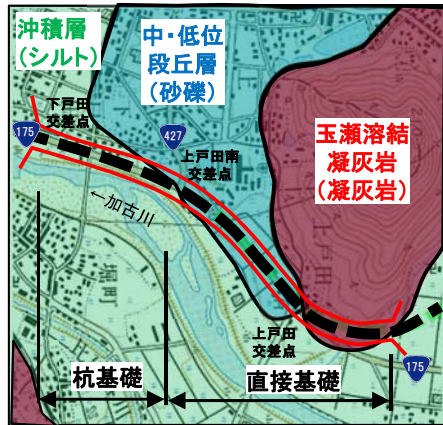
## 橋梁基礎工の変更 (+ 34.9億円)

- 当初、文献調査及び近傍のボーリング結果により地質を想定し、予備設計を実施
- 用地進捗に伴い、詳細設計段階において橋脚位置でボーリングを実施。支持地盤線が想定より深い位置であることが確認されたため、橋梁基礎形式を直接基礎から杭基礎へ変更

■当初想定(文献調査)

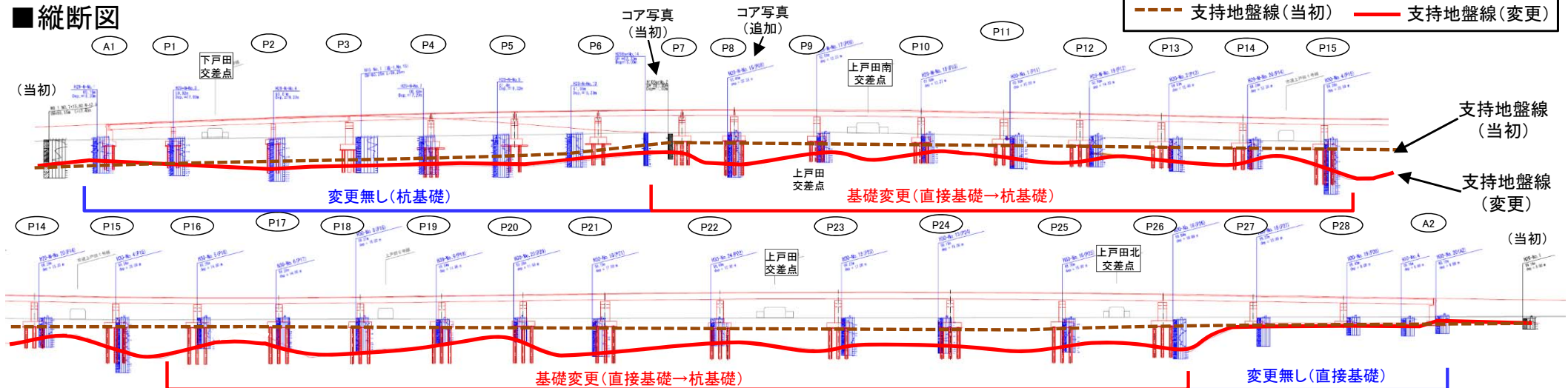
■平面図

■断面図 (P8橋脚)



当該地域の北部は砂礫、硬岩が分布しており、支持地盤が浅く、南部はシルトが分布しており、支持地盤が深いと想定

■縦断面図

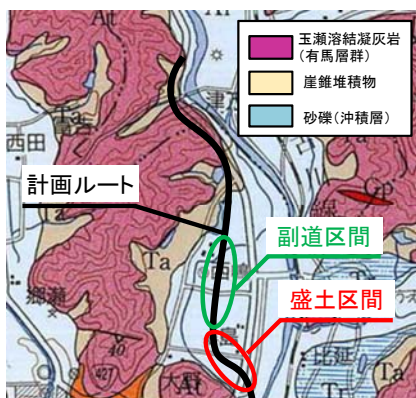


# 5.事業費の見直し

## 盛土区間における地盤改良工の追加 (+ 24.1億円)

○当初、文献調査により地質を想定し、現状地盤へ直接盛土することを計画  
 ○用地進捗に伴い、詳細設計段階においてボーリングを実施。検証の結果、圧密沈下が想定される粘土層が含まれていることが判明し、地盤改良工が必要となった

### ■当初想定(文献調査)

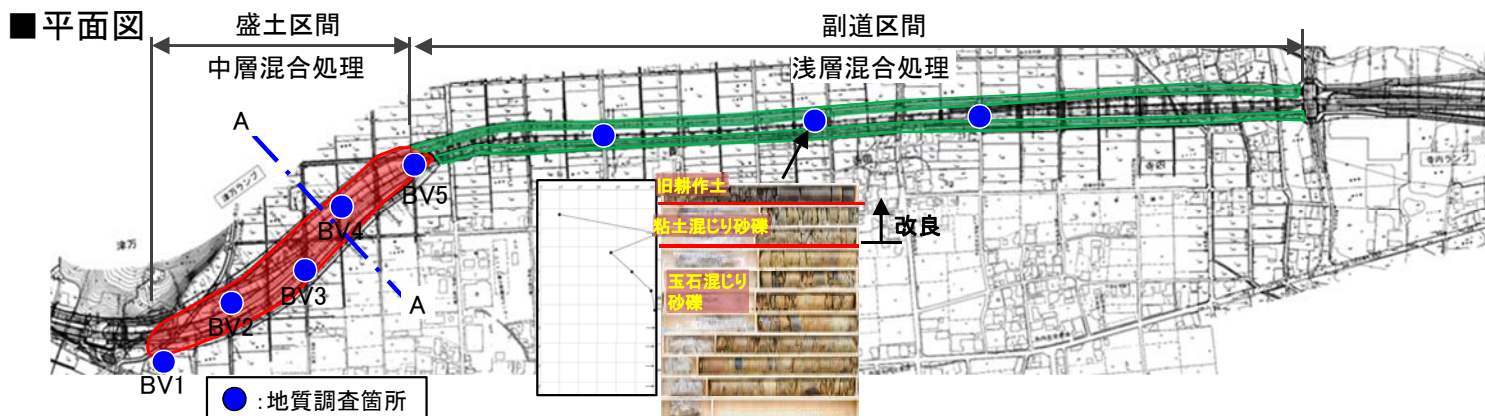


兵庫県地質図1:100,000:1996より

当該地域は中生代白亜紀の有馬層群に属する玉瀨溶結凝灰岩(硬岩相当)に近接しており、その上に氾濫堆積物である砂礫(沖積層)が薄く堆積した地質で支持地盤は浅いと想定

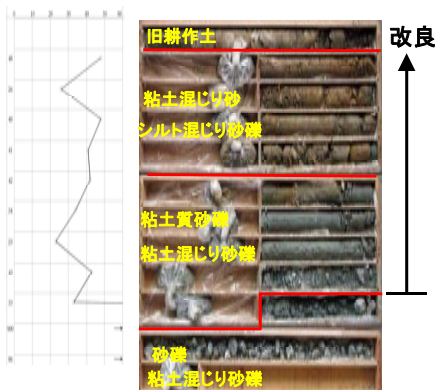
※岩級区分は、一般的に形成年代と一軸圧縮強度により区分  
 ・硬岩: 中生代(65~212万年前)以前の砂岩、礫岩等(一軸圧縮強度:25MN/m<sup>2</sup>以上)  
 ・軟岩: 新生代第三紀(1.7~65万年前)以前の砂岩、堆積岩等(一軸圧縮強度:25MN/m<sup>2</sup>以下)

### ■平面図

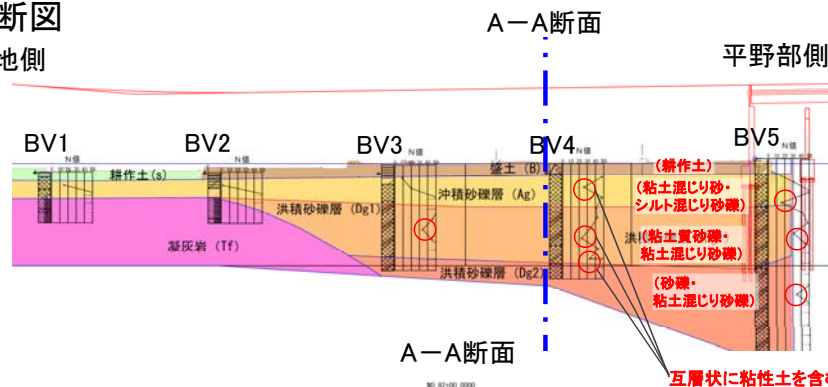


### ■地質縦断図

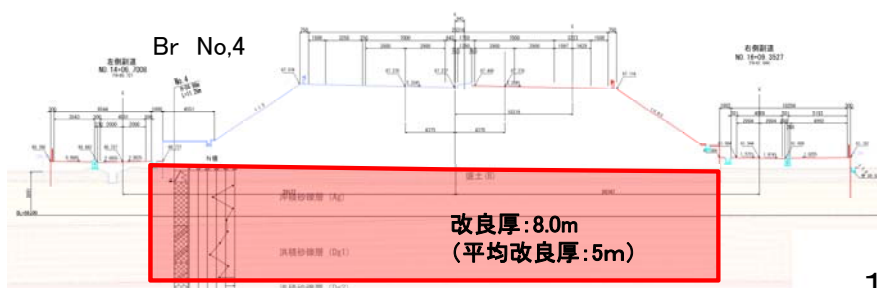
BV4 柱状図およびコア写真



### 山地側



### ■断面図



・山地側から平野部側に向けて、基盤岩である溶結凝灰岩が急激に落ち込んでいることが判明  
 ・当該区間は、概ね砂礫により比較的締まりの良好な地盤を形成しているが、互層状に粘土質の層が分布しているため、その下の砂礫層迄の間は地盤改良が必要

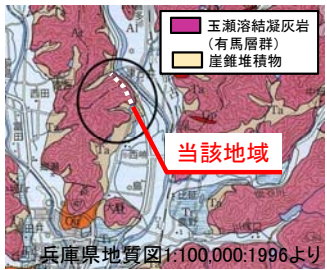


# 5.事業費の見直し

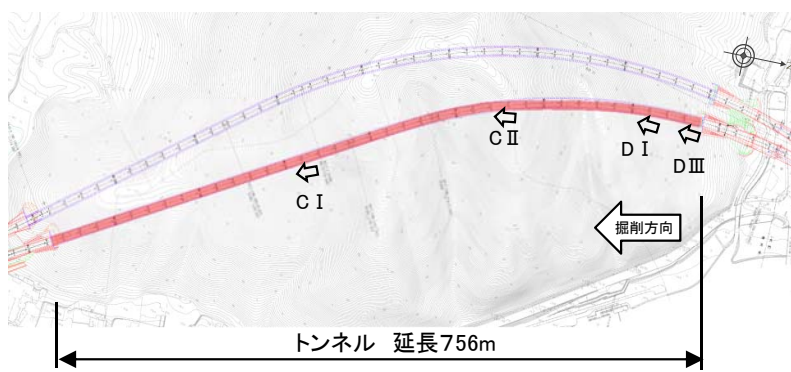
## トンネルの支保パターン変更及び補助工法の追加 (+ 12.1億円)

○当初、文献調査により地質を想定し、支保パターンを計画  
 ○施工段階で実施した岩判定の結果、坑口付近は地質が想定より柔らかく、切羽崩壊を防止するため、補助工法を追加、また中心部は想定より地質が悪く、支保パターンの変更が必要となった

### ■当初想定(文献調査) ■平面図



当該地域は中生代白亜紀の有馬層群に属する玉瀨溶結凝灰岩が分布しており硬岩相当と想定



※岩級区分は、一般的に形成年代と一軸圧縮強度により区分  
 ・硬岩: 中生代(65~212万年前)以前の砂岩、礫岩等 (一軸圧縮強度: 25MN/m<sup>2</sup>以上)  
 ・軟岩: 新生代第三紀(1.7~65万年前)以前の砂岩、堆積岩等 (一軸圧縮強度: 25MN/m<sup>2</sup>以下)

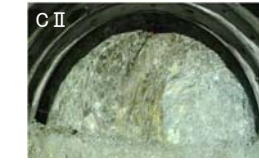
### ■岩判定結果



当初D I 等級  
 ・滴水あり。緩みを生じる  
 →D III 相当と判定



当初C II 等級  
 ・滴水あり。肌落ちが生じる  
 →D I 相当と判定



当初B 等級  
 ・岩目に沿って風化、開口あり  
 →C II 相当と判定



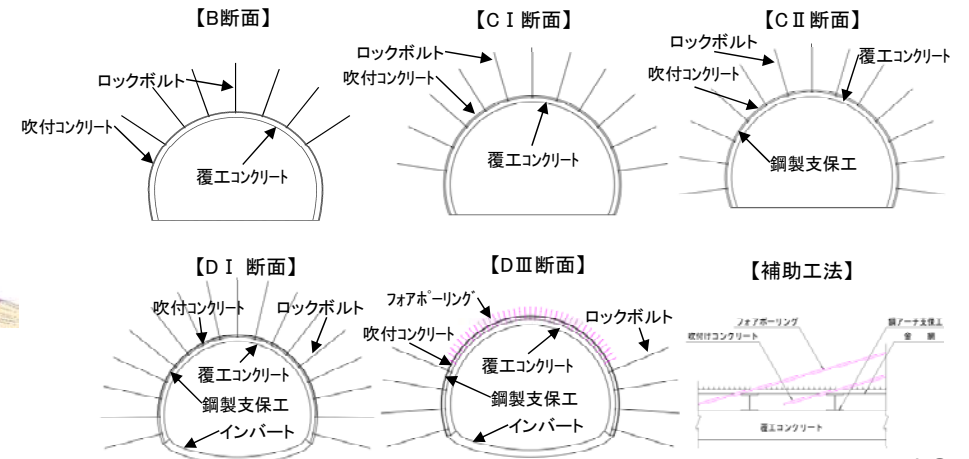
当初B 等級  
 ・軽い打撃で碎ける  
 →C I 相当と判定

### ■地質縦断図

トンネル 延長756m

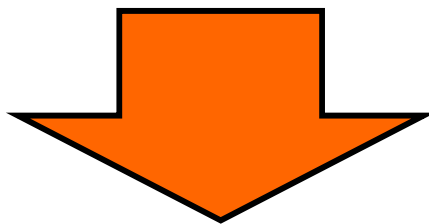


### ■断面図



## 6. コスト縮減や代替案等の可能性の視点

加東市を起点として丹波市に至る東播丹波連絡道路の一部を形成する一般国道175号西脇北バイパスの計画は、交通混雑の緩和、交通安全の確保、道路ネットワークによる地域・拠点の連携を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺環境や景観の保全を図っています。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。



### ■兵庫県知事

令和元年7月23日 土第1249号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道175号西脇北バイパスは、中国自動車道滝野社ICと北近畿豊岡自動車道氷上ICを連絡する地域高規格道路「東播丹波連絡道路」の一部を形成する重要な道路である。

当該区間の国道175号現道は、2車線で、交通容量(12,907台/日)を大幅に上回る17,855台/日の交通量があり、朝夕の通勤時間帯には西脇市中心部への入口となる上戸田南交差点等で渋滞が発生している。

また、現道の死傷事故率は県内の一般国道の約1.3倍で、そのうち交通混雑が主な原因と考えられる追突事故が6割を占めることから、交通混雑の緩和、安全性の向上を図る西脇北バイパスの早期整備が喫緊の課題となっている。

平成29年4月、西脇北バイパス(仮)寺内ランプ隣接地に開設された西脇消防署西脇北出張所では、現道の渋滞により緊急車両の走行に苦慮しており、本バイパスの完成により、現場到着時間の短縮が期待できる。また、(仮)下戸田ランプ付近では、市役所新庁舎及び市民交流施設が令和2年度に完成予定であり、西脇市ではこれら施設を核とした中心市街地の活性化を図ることとしている。このため、沿線市からも早期完成の強い要望がある。

こうしたことから、より一層のコスト縮減に配慮していただきながら、安全で円滑な交通確保と地域の活性化に資する本バイパスの(仮)寺内ランプ～(仮)畑瀬ランプの令和元年度部分供用に続く早期全線供用に向けて引き続き取り組んでいただきたい。

## ◆沿線市町村の期待

### ■西脇市長

(期待する効果)

#### ①防災力、救命力の向上

- ・国道175号の交通混雑の緩和、移動時間の短縮による災害時の防災機能の強化
- ・沿線病院への迅速な緊急搬送による救命率の向上

#### ②産業振興、交流活動の促進

- ・中国自動車道滝野社IC等へのアクセス向上による企業立地、物流・交流活動の拡大
- ・アクセス向上に伴う中心市街地の活性化

#### ③安全性の向上

- ・交通分散による国道175号の事故発生の危険性低減、高校生の通学時の安全性向上

(取り組み)

- ・(仮)寺内ランプの隣接地に西脇消防署西脇北出張所及び消防団の活動拠点を建設(H29.4)
- ・市立西脇病院の建替(H21グランドオープン、入院患者の55%が市外から来院する拠点病院)
- ・上比延工場公園(H24分譲開始、H27完売)等の整備(製氷業、清涼飲料製造業等を誘致)
- ・新たな酒蔵の誘致(市特産の酒米・山田錦を用いた酒蔵がR2年春稼働予定)
- ・道の駅「北はりまエコミュージアム」の魅力アップ(販売品目の充実等により年間約40万人来場)
- ・(仮)下戸田ランプ付近の中心市街地に市役所新庁舎と市民交流施設を建設(R3.3完成予定)  
同ランプから新庁舎等へのアクセス道路となる国道427号等を県が整備(R元年度一部完成予定)
- ・西脇北バイパスへ接続する市道上野上戸田線に歩道を整備
- ・事業の必要性等を周知する広報活動や住民・小中学生へのトンネル工事現場の見学会等を実施

## 1. 事業の必要性等に関する視点

- ・事業目的である交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域のアクセス改善が必要な状況は変化していない。
- ・西脇北バイパスの整備により交通の転換が図られ、交通混雑の緩和が期待される。
- ・西脇北バイパスの整備により、交通混雑が緩和し国道175号の安全性の向上が期待される。
- ・西脇北バイパスの整備により、アクセス性・走行性の向上が図られ、広域医療圏での救急医療活動への支援が期待される。
- ・費用便益比(B/C)は、事業全体で1.1。残事業で2.9。

## 2. 事業進捗の見込みの視点

- ・西脇北バイパスは平成9年度に事業化し、現在工事を推進。
- ・西脇北バイパスは平成12年度に用地着手し、平成31年3月時点で約97%取得済み。
- ・西脇北バイパスは引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します。

西脇北バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

**事業継続**



No. 5  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
令和元年度第1回

一般国道175号

にしわききた

西脇北バイパス

【再評価】

( 計算結果等参考資料 )

令和元年8月  
近畿地方整備局



(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道175号 西脇北バイパス
事業主体	近畿地方整備局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比(B/C)=1.1(経済的純現在価値(B-C)=40億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.2%) 残事業：費用便益比(B/C)=2.9(経済的純現在価値(B-C)=389億円、経済的内部収益率(EIRR)=11.2%)

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率		区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):16094万人・時間/年 渋滞損失削減時間:128万人・時間/年(40176万人・時間/年 40048万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について:一般国道175号 一般国道427号(県)黒田庄滝野線(県)津万井西田線(主)西脇篠山線 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:148万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率:7割削減
		現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道175号(上戸田地区)、(旅行速度16.0km/h 改善見込み)
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	利便性向上が見込まれるバス:西脇コミュニティバス
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	アクセス向上が見込まれる新幹線駅:西脇市立会館コミュニティセンター黒田庄地区会館~西明石駅(所要時間:76分 66分)
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	アクセス向上が見込まれる空港:西脇市立会館コミュニティセンター黒田庄地区会館~神戸空港(所要時間:82分 72分)
	物流効率化の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	アクセス向上が見込まれる重要港湾:西脇市立会館コミュニティセンター黒田庄地区会館~東播磨港(所要時間:83分 74分)
		農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する			

1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画 主体：兵庫県 位置づけ：基幹道路八連携軸のうち播磨丹波但馬軸を形成する。
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		中心市街地内で行う事業である	
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	都市計画道路網密度の変化（3.5km/km2 3.6km/km2）
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り		
	地域高規格道路の位置づけあり	東播磨丹波連絡道路の一部	
	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	参考：【兵庫】播磨地方拠点都市地域（中心都市：姫路市・加古川市）、但馬地方拠点都市地域（中心都市：豊岡市） 【京都】北近畿地方拠点都市地域（中心都市：福知山市・舞鶴市） 国土交通省HP	
	当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する		
	現道等における交通不能区間を解消する		
	現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する		
	日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象となる拠点都市：西脇市立会館コミュニティセンター黒田庄地区会館～加古川市（所要時間：69分 60分）	
個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	北はりま定住自立圏共生ビジョン	
	主要な観光地へのアクセス向上が期待される	北はりまエコミュージアム（道の駅）（年間観光客入込数：38.6万人/年 H26年）	
	特別立法に基づく事業である		
	新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
	歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	対象区間の自転車交通量（未調査）、自動車交通量14,278 1,000台/12h、歩行者交通量（未調査）
		交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	アクセス向上が見込まれる三次医療施設：西脇市立会館コミュニティセンター黒田庄地区会館～加古川医療センター（所要時間：61分 52分）	

3. 安全	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	現国道175号 西脇寺内交差点（死傷事故率：323.7件/億台キロ、自動車交通量：13,114台/日）H26-29以降
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	対象区間の自動車交通量14,278台/12h、歩行者交通量（未調査）、高校生が通学路として利用（人数不明）、歩道の無い区間（上戸田 - 畑瀬橋：3.7km）
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	現ルートが2つ以上有り
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	兵庫県地域防災計画で国道175号は、「緊急輸送道路」に位置づけられている
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	現国道175号（下戸田 - 畑瀬橋）で通行止となった場合、代替路線として機能する
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	現国道175号（蒲江北～畑瀬橋に防災点検箇所あり）
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：7012.32t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：一般国道175号 一般国道427号（県）黒田庄滝野線（県）津万井西田線（主）西脇篠山線 排出削減量：30.19t/年、排出削減率：7割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：23.53t/年
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：一般国道175号 一般国道427号（県）黒田庄滝野線（県）津万井西田線（主）西脇篠山線 排出削減量：1.94t/年、排出削減率：7割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：1.33t/年
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のアジェンダとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	道路の整備に関するプログラム：兵庫県、H30.3策定見直し、基幹道路八連携軸の構成路線（東播丹波連絡道路）
		関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式 - 2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・その他の別
一般国道175号	西脇北バイパス	L = 5.2km	地域高規格	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
18,200	4車線	近畿地方整備局

### 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和1年度		
単純合計	448億円	125億円	573億円
うち残事業分	196億円	121億円	318億円
基準年における 現在価値 (C)	517億円	38億円	555億円
うち残事業分	169億円	37億円	206億円

### 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和1年度			
供用年	令和11年度			
単年便益 (初年便益)	41億円	2.0億円	0.47億円	44億円
基準年における 現在価値 (B)	561億円	27億円	6.2億円	595億円
うち残事業分	561億円	27億円	6.2億円	595億円



## 結 果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	40億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.2%
費用便益比（残事業）	2.9
経済的純現在価値（残事業）	389億円
経済的内部収益率（残事業）	11.2%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 感 度 分 析

### 【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	18,200台/日	± 10%	0.9 ~ 1.3
事業費	196億円	± 10%	1.04 ~ 1.1
事業期間	9年	± 20%	0.99 ~ 1.2

### 【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	18,200台/日	± 10%	2.4 ~ 3.6
事業費	196億円	± 10%	2.7 ~ 3.2
事業期間	9年	± 20%	2.8 ~ 3.0

# 交通状況の変化

様式 - 3

## 事業名：西脇北バイパス（事業全体）

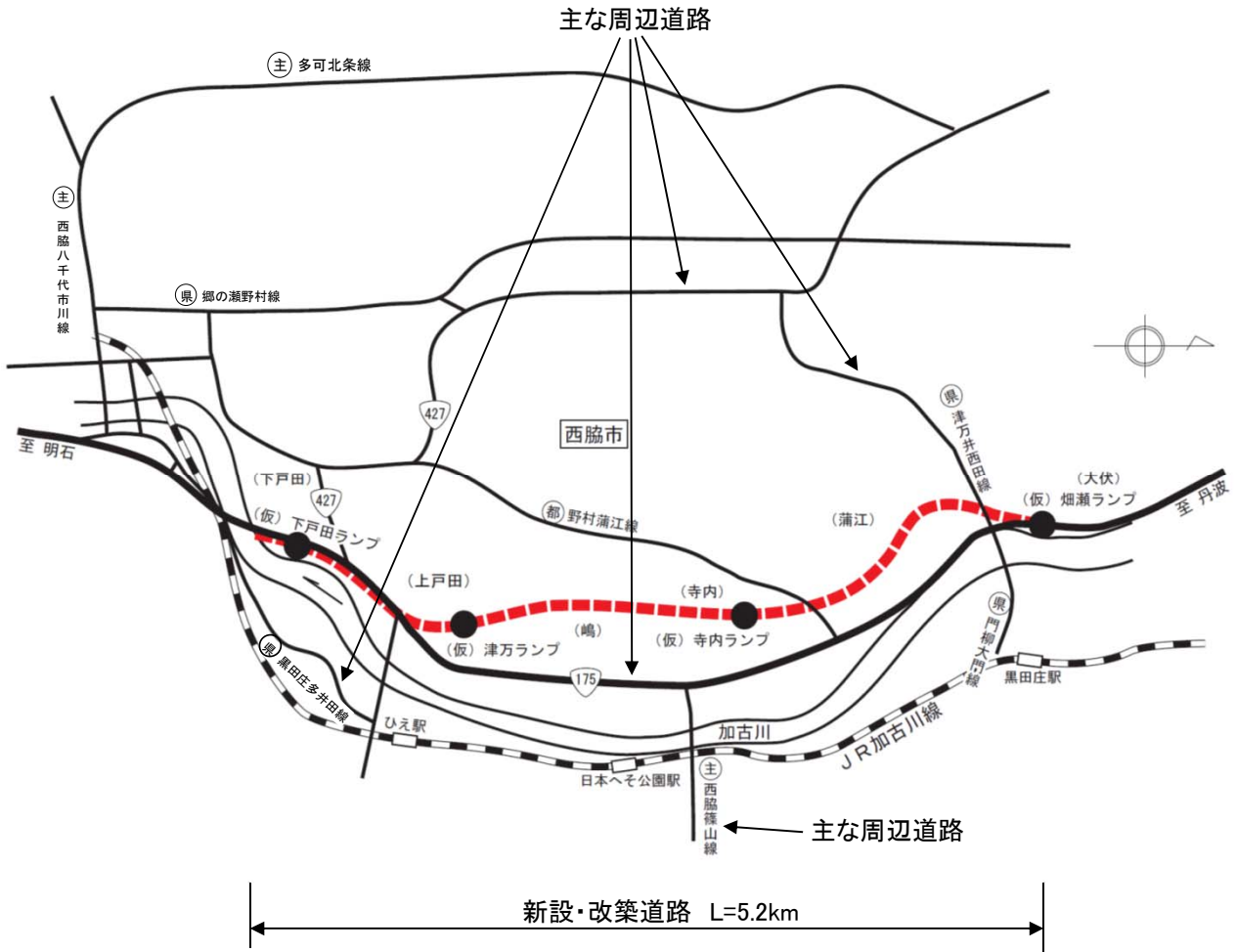
（推計時点 令和12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 (5.2km)	交通量 <sup>1</sup>	[台/日]	0	18,200	
	走行時間 <sup>2</sup>	[分]	0	6	
	走行時間費用 <sup>3</sup>	[億円/年]	0.00	20.80	
主な周 辺道路 <sup>4</sup>	一般国道 175号  (2.6km)	交通量	[台/日]	20,100	6,500
		走行時間	[分]	13	7
		走行時間費用	[億円/年]	46.96	7.97
	一般国道 427号  (3.8km)	交通量	[台/日]	13,700	12,100
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	18.82	15.59
	(県)黒田庄 滝野線  (5.9km)	交通量	[台/日]	3,400	2,500
		走行時間	[分]	20	16
		走行時間費用	[億円/年]	12.75	7.46
	(県)津万井 西田線  (2.4km)	交通量	[台/日]	3,400	2,900
		走行時間	[分]	9	7
		走行時間費用	[億円/年]	4.74	3.35
(主)西脇篠 山線  (0.8km)	交通量	[台/日]	10,800	5,800	
	走行時間	[分]	2	1	
	走行時間費用	[億円/年]	3.31	1.48	
その他道路合計 (7,253.3km)	走行時間費用	[億円/年]	24,761.97	24,750.63	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7,274.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,848.53	24,807.27	41.26

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- 5： 主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面( )、 に該当する道路を明示すること



# 交通状況の変化

様式 - 3

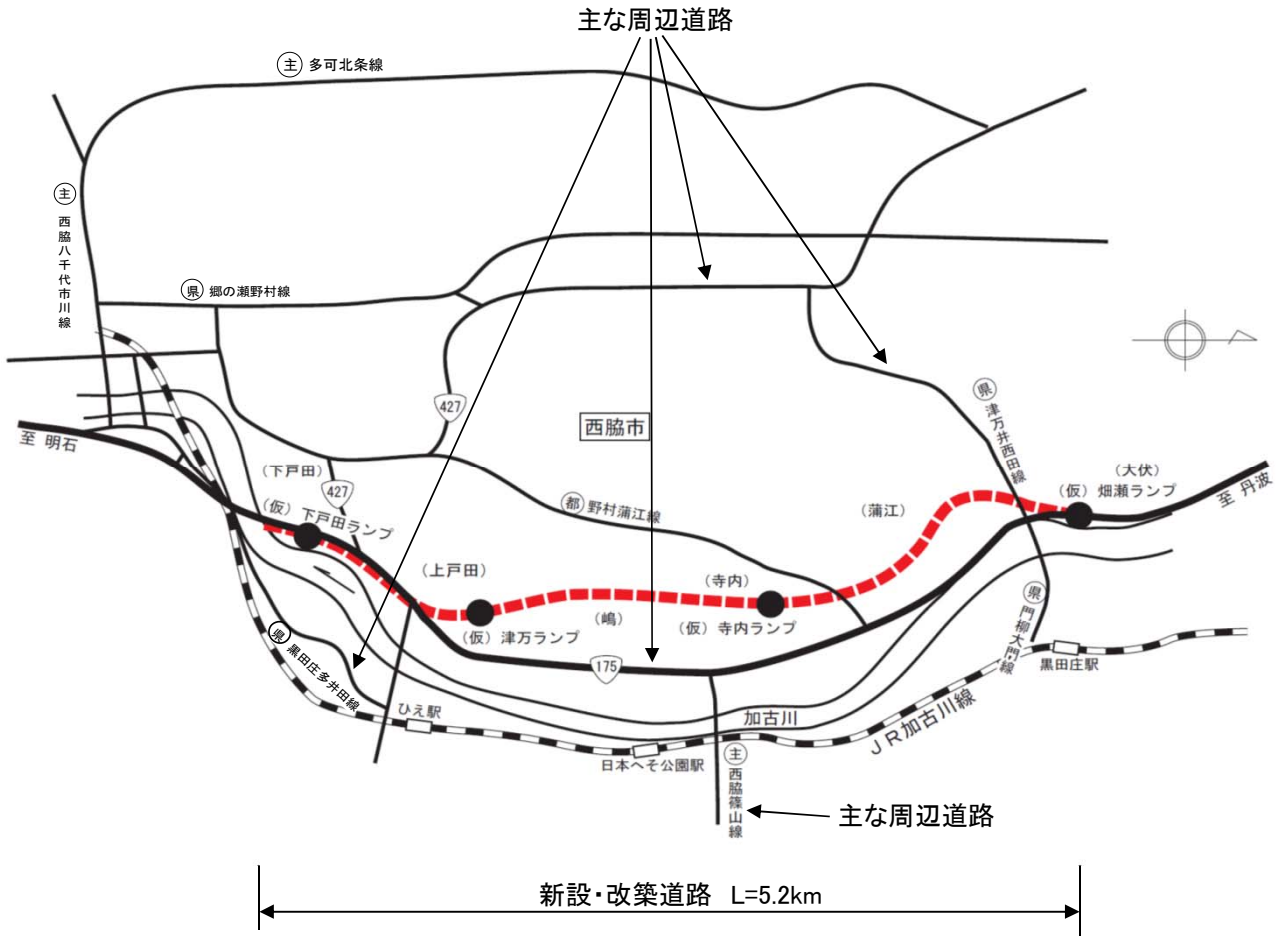
## 事業名：西脇北バイパス（残事業）

（推計時点 令和12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
新設・改築道路 (5.2km)	交通量 <sup>1</sup>	[台/日]	0	18,200	
	走行時間 <sup>2</sup>	[分]	0	6	
	走行時間費用 <sup>3</sup>	[億円/年]	0.00	20.80	
主な周 辺道路 <sup>4</sup>	一般国道 175号  (2.6km)	交通量	[台/日]	20,100	6,500
		走行時間	[分]	13	7
		走行時間費用	[億円/年]	46.96	7.97
	一般国道 427号  (3.8km)	交通量	[台/日]	13,700	12,100
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	18.82	15.59
	(県)黒田庄 滝野線  (5.9km)	交通量	[台/日]	3,400	2,500
		走行時間	[分]	20	16
		走行時間費用	[億円/年]	12.75	7.46
	(県)津万井 西田線  (2.4km)	交通量	[台/日]	3,400	2,900
		走行時間	[分]	9	7
		走行時間費用	[億円/年]	4.74	3.35
	(主)西脇篠 山線  (0.8km)	交通量	[台/日]	10,800	5,800
		走行時間	[分]	2	1
		走行時間費用	[億円/年]	3.31	1.48
その他道路合計 (7,253.3km)	走行時間費用	[億円/年]	24,761.97	24,750.63	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7,274.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,848.53	24,807.27	41.26

- 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- 5： 主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面( )、 に該当する道路を明示すること)





## 費用便益分析の条件

事業名：西脇北バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和1年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (令和12年)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22全国道路・街路 交通情勢調査)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他( )		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他( BPR関数と転換率式の併用による配分 )	<input checked="" type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他( )	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	( ) %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	( ) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>		
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	( ) 日
採用した冬期日数の考え方を記載				
冬期の走行速度と交通容量の関係				
設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				



## 費用の現在価値算定表(事業全体)

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名:一般国道175号 西脇北バイパス				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.53	5.2	2.76	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-32年目	H 9	2.3699	117.5	0.22	0.46		
-31年目	H 10	2.2788	116.9	2.67	5.35		
-30年目	H 11	2.1911	115.2	0.46	0.90		
-29年目	H 12	2.1068	113.8	4.50	8.57		
-28年目	H 13	2.0258	112.4	4.74	8.79		
-27年目	H 14	1.9479	110.5	9.70	17.61		
-26年目	H 15	1.8730	109.0	8.49	15.02		
-25年目	H 16	1.8009	107.9	11.95	20.54		
-24年目	H 17	1.7317	106.7	11.51	19.23		
-23年目	H 18	1.6651	105.9	17.79	28.81		
-22年目	H 19	1.6010	105.0	24.17	37.96		
-21年目	H 20	1.5395	104.4	15.52	23.57		
-20年目	H 21	1.4802	103.0	19.03	28.17		
-19年目	H 22	1.4233	101.3	13.10	18.96		
-18年目	H 23	1.3686	99.8	3.75	5.30		
-17年目	H 24	1.3159	99.0	12.04	16.48		
-16年目	H 25	1.2653	99.0	3.14	4.14		
-15年目	H 26	1.2167	101.5	2.12	2.62		
-14年目	H 27	1.1699	103.0	2.01	2.35		
-13年目	H 28	1.1249	102.8	9.49	10.70		
-12年目	H 29	1.0816	103.0	16.90	18.28		
-11年目	H 30	1.0400	103.0	25.95	26.99		
-10年目	R 1	1.0000	103.0	32.47	32.47		
-9年目	R 2	0.9615	103.0	60.18	57.86		
-8年目	R 3	0.9246	103.0	29.55	27.32		
-7年目	R 4	0.8890	103.0	12.36	10.99		
-6年目	R 5	0.8548	103.0	11.09	9.48		
-5年目	R 6	0.8219	103.0	16.61	13.65		
-4年目	R 7	0.7903	103.0	16.61	13.13		
-3年目	R 8	0.7599	103.0	16.61	12.62		
-2年目	R 9	0.7307	103.0	16.60	12.13		
-1年目	R 10	0.7026	103.0	16.60	11.66		
供用開始年次	R 11	0.6756	103.0			2.51	1.70
1年目	R 12	0.6496	103.0			2.51	1.63
2年目	R 13	0.6246	103.0			2.51	1.57
3年目	R 14	0.6006	103.0			2.51	1.51
4年目	R 15	0.5775	103.0			2.51	1.45
5年目	R 16	0.5553	103.0			2.51	1.39
6年目	R 17	0.5339	103.0			2.51	1.34
7年目	R 18	0.5134	103.0			2.51	1.29
8年目	R 19	0.4936	103.0			2.51	1.24
9年目	R 20	0.4746	103.0			2.51	1.19
10年目	R 21	0.4564	103.0			2.51	1.15
11年目	R 22	0.4388	103.0			2.51	1.10
12年目	R 23	0.4220	103.0			2.51	1.06
13年目	R 24	0.4057	103.0			2.51	1.02
14年目	R 25	0.3901	103.0			2.51	0.98
15年目	R 26	0.3751	103.0			2.51	0.94
16年目	R 27	0.3607	103.0			2.51	0.91
17年目	R 28	0.3468	103.0			2.51	0.87
18年目	R 29	0.3335	103.0			2.51	0.84
19年目	R 30	0.3207	103.0			2.51	0.80
20年目	R 31	0.3083	103.0			2.51	0.77
21年目	R 32	0.2965	103.0			2.51	0.74
22年目	R 33	0.2851	103.0			2.51	0.72
23年目	R 34	0.2741	103.0			2.51	0.69
24年目	R 35	0.2636	103.0			2.51	0.66
25年目	R 36	0.2534	103.0			2.51	0.64
26年目	R 37	0.2437	103.0			2.51	0.61
27年目	R 38	0.2343	103.0			2.51	0.59
28年目	R 39	0.2253	103.0			2.51	0.57
29年目	R 40	0.2166	103.0			2.51	0.54
30年目	R 41	0.2083	103.0			2.51	0.52
31年目	R 42	0.2003	103.0			2.51	0.50
32年目	R 43	0.1926	103.0			2.51	0.48
33年目	R 44	0.1852	103.0			2.51	0.46
34年目	R 45	0.1780	103.0			2.51	0.45
35年目	R 46	0.1712	103.0			2.51	0.43
36年目	R 47	0.1646	103.0			2.51	0.41
37年目	R 48	0.1583	103.0			2.51	0.40
38年目	R 49	0.1522	103.0			2.51	0.38
39年目	R 50	0.1463	103.0			2.51	0.37
40年目	R 51	0.1407	103.0			2.51	0.35
41年目	R 52	0.1353	103.0			2.51	0.34
42年目	R 53	0.1301	103.0			2.51	0.33
43年目	R 54	0.1251	103.0			2.51	0.31
44年目	R 55	0.1203	103.0			2.51	0.30
45年目	R 56	0.1157	103.0			2.51	0.29
46年目	R 57	0.1112	103.0			2.51	0.28
47年目	R 58	0.1069	103.0			2.51	0.27
48年目	R 59	0.1028	103.0			2.51	0.26
49年目	R 60	0.0989	103.0	-53.95	-5.34	2.51	0.25
合計				393.96	516.77	125.45	37.89
単純事業費計				447.91		125.45	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道175号 西脇北バイパス

				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.51	5.2	2.67	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-9年目	R 2	0.9615	103.0	60.18	57.86		
-8年目	R 3	0.9246	103.0	29.55	27.32		
-7年目	R 4	0.8890	103.0	12.36	10.99		
-6年目	R 5	0.8548	103.0	11.09	9.48		
-5年目	R 6	0.8219	103.0	16.61	13.65		
-4年目	R 7	0.7903	103.0	16.61	13.13		
-3年目	R 8	0.7599	103.0	16.61	12.62		
-2年目	R 9	0.7307	103.0	16.60	12.13		
-1年目	R 10	0.7026	103.0	16.60	11.66		
供用開始年次	R 11	0.6756	103.0			2.43	1.64
1年目	R 12	0.6496	103.0			2.43	1.58
2年目	R 13	0.6246	103.0			2.43	1.52
3年目	R 14	0.6006	103.0			2.43	1.46
4年目	R 15	0.5775	103.0			2.43	1.40
5年目	R 16	0.5553	103.0			2.43	1.35
6年目	R 17	0.5339	103.0			2.43	1.30
7年目	R 18	0.5134	103.0			2.43	1.25
8年目	R 19	0.4936	103.0			2.43	1.20
9年目	R 20	0.4746	103.0			2.43	1.15
10年目	R 21	0.4564	103.0			2.43	1.11
11年目	R 22	0.4388	103.0			2.43	1.07
12年目	R 23	0.4220	103.0			2.43	1.02
13年目	R 24	0.4057	103.0			2.43	0.98
14年目	R 25	0.3901	103.0			2.43	0.95
15年目	R 26	0.3751	103.0			2.43	0.91
16年目	R 27	0.3607	103.0			2.43	0.88
17年目	R 28	0.3468	103.0			2.43	0.84
18年目	R 29	0.3335	103.0			2.43	0.81
19年目	R 30	0.3207	103.0			2.43	0.78
20年目	R 31	0.3083	103.0			2.43	0.75
21年目	R 32	0.2965	103.0			2.43	0.72
22年目	R 33	0.2851	103.0			2.43	0.69
23年目	R 34	0.2741	103.0			2.43	0.67
24年目	R 35	0.2636	103.0			2.43	0.64
25年目	R 36	0.2534	103.0			2.43	0.62
26年目	R 37	0.2437	103.0			2.43	0.59
27年目	R 38	0.2343	103.0			2.43	0.57
28年目	R 39	0.2253	103.0			2.43	0.55
29年目	R 40	0.2166	103.0			2.43	0.53
30年目	R 41	0.2083	103.0			2.43	0.51
31年目	R 42	0.2003	103.0			2.43	0.49
32年目	R 43	0.1926	103.0			2.43	0.47
33年目	R 44	0.1852	103.0			2.43	0.45
34年目	R 45	0.1780	103.0			2.43	0.43
35年目	R 46	0.1712	103.0			2.43	0.42
36年目	R 47	0.1646	103.0			2.43	0.40
37年目	R 48	0.1583	103.0			2.43	0.38
38年目	R 49	0.1522	103.0			2.43	0.37
39年目	R 50	0.1463	103.0			2.43	0.36
40年目	R 51	0.1407	103.0			2.43	0.34
41年目	R 52	0.1353	103.0			2.43	0.33
42年目	R 53	0.1301	103.0			2.43	0.32
43年目	R 54	0.1251	103.0			2.43	0.30
44年目	R 55	0.1203	103.0			2.43	0.29
45年目	R 56	0.1157	103.0			2.43	0.28
46年目	R 57	0.1112	103.0			2.43	0.27
47年目	R 58	0.1069	103.0			2.43	0.26
48年目	R 59	0.1028	103.0			2.43	0.25
49年目	R 60	0.0989	103.0	0.00	0.00	2.43	0.24
合計				196.21	168.84	121.36	36.69
単純事業費計				196.21		121.36	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道175号 西脇北バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 11	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.6756	103.0	20.16	7.80	13.39	41.35	27.93	0.86	0.20	0.89	1.96	1.32	0.47	0.31	43.77	29.57
1年目	R 12	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.6496	103.0	20.14	7.67	13.46	41.26	26.80	0.86	0.20	0.90	1.96	1.27	0.46	0.30	43.68	28.38
2年目	R 13	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6246	103.0	19.97	7.59	13.44	41.00	25.61	0.85	0.20	0.90	1.95	1.22	0.46	0.29	43.41	27.11
3年目	R 14	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.6006	103.0	19.81	7.52	13.41	40.75	24.47	0.85	0.20	0.89	1.94	1.16	0.46	0.27	43.14	25.91
4年目	R 15	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.5775	103.0	19.65	7.45	13.39	40.49	23.38	0.84	0.19	0.89	1.93	1.11	0.45	0.26	42.87	24.76
5年目	R 16	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.5553	103.0	19.49	7.37	13.37	40.23	22.34	0.83	0.19	0.89	1.92	1.06	0.45	0.25	42.60	23.66
6年目	R 17	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5339	103.0	19.33	7.30	13.35	39.98	21.34	0.83	0.19	0.89	1.91	1.02	0.45	0.24	42.33	22.60
7年目	R 18	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.5134	103.0	19.17	7.23	13.33	39.72	20.39	0.82	0.19	0.89	1.90	0.97	0.44	0.23	42.06	21.59
8年目	R 19	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.4936	103.0	19.00	7.15	13.30	39.46	19.48	0.81	0.19	0.89	1.89	0.93	0.44	0.22	41.79	20.63
9年目	R 20	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.4746	103.0	18.84	7.08	13.28	39.21	18.61	0.81	0.18	0.89	1.88	0.89	0.44	0.21	41.52	19.71
10年目	R 21	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4564	103.0	18.68	7.01	13.26	38.95	17.78	0.80	0.18	0.88	1.86	0.85	0.43	0.20	41.25	18.83
11年目	R 22	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4388	103.0	18.52	6.93	13.24	38.69	16.98	0.79	0.18	0.88	1.85	0.81	0.43	0.19	40.98	17.98
12年目	R 23	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4220	103.0	18.36	6.86	13.22	38.44	16.22	0.79	0.18	0.88	1.84	0.78	0.43	0.18	40.71	17.18
13年目	R 24	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.4057	103.0	18.20	6.79	13.20	38.18	15.49	0.78	0.18	0.88	1.83	0.74	0.42	0.17	40.44	16.41
14年目	R 25	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.3901	103.0	18.04	6.71	13.17	37.92	14.79	0.77	0.17	0.88	1.82	0.72	0.42	0.16	40.17	15.67
15年目	R 26	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.3751	103.0	17.87	6.64	13.15	37.67	14.13	0.76	0.17	0.88	1.81	0.68	0.42	0.16	39.90	14.97
16年目	R 27	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3607	103.0	17.71	6.57	13.13	37.41	13.49	0.76	0.17	0.88	1.80	0.65	0.41	0.15	39.63	14.29
17年目	R 28	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3468	103.0	17.55	6.49	13.11	37.15	12.88	0.75	0.17	0.87	1.79	0.62	0.41	0.14	39.36	13.65
18年目	R 29	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3335	103.0	17.39	6.42	13.09	36.90	12.30	0.74	0.17	0.87	1.78	0.59	0.41	0.14	39.09	13.04
19年目	R 30	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3207	103.0	17.23	6.35	13.07	36.64	11.75	0.74	0.16	0.87	1.77	0.57	0.40	0.13	38.82	12.45
20年目	R 31	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.3083	103.0	17.07	6.27	13.04	36.38	11.22	0.73	0.16	0.87	1.76	0.54	0.40	0.12	38.55	11.88
21年目	R 32	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.2965	103.0	16.90	6.20	13.02	36.13	10.71	0.72	0.16	0.87	1.75	0.52	0.40	0.12	38.28	11.35
22年目	R 33	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.2851	103.0	16.74	6.13	13.00	35.87	10.23	0.72	0.16	0.87	1.74	0.50	0.39	0.11	38.01	10.84
23年目	R 34	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2741	103.0	16.58	6.05	12.98	35.61	9.76	0.71	0.16	0.87	1.73	0.47	0.39	0.11	37.74	10.34
24年目	R 35	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2636	103.0	16.42	5.98	12.96	35.36	9.32	0.70	0.16	0.86	1.72	0.45	0.39	0.10	37.47	9.88
25年目	R 36	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2534	103.0	16.26	5.91	12.94	35.10	8.89	0.70	0.15	0.86	1.71	0.43	0.38	0.10	37.20	9.43
26年目	R 37	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2437	103.0	16.10	5.83	12.91	34.84	8.49	0.69	0.15	0.86	1.70	0.41	0.38	0.09	36.92	9.00
27年目	R 38	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2343	103.0	15.94	5.76	12.89	34.59	8.10	0.68	0.15	0.86	1.69	0.40	0.38	0.09	36.65	8.59
28年目	R 39	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2253	103.0	15.77	5.69	12.87	34.33	7.73	0.67	0.15	0.86	1.68	0.38	0.37	0.08	36.38	8.20
29年目	R 40	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2166	103.0	15.61	5.61	12.85	34.07	7.38	0.67	0.15	0.86	1.67	0.36	0.37	0.08	36.11	7.82
30年目	R 41	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2083	103.0	15.45	5.54	12.83	33.82	7.04	0.66	0.14	0.86	1.66	0.35	0.37	0.08	35.84	7.47
31年目	R 42	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.2003	103.0	15.29	5.47	12.81	33.56	6.72	0.65	0.14	0.85	1.65	0.33	0.36	0.07	35.57	7.13
32年目	R 43	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.1926	103.0	15.13	5.39	12.78	33.30	6.41	0.65	0.14	0.85	1.64	0.32	0.36	0.07	35.30	6.80
33年目	R 44	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.1852	103.0	14.97	5.32	12.76	33.05	6.12	0.64	0.14	0.85	1.63	0.30	0.36	0.07	35.03	6.49
34年目	R 45	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1780	103.0	14.80	5.24	12.74	32.79	5.84	0.63	0.14	0.85	1.62	0.29	0.35	0.06	34.76	6.19
35年目	R 46	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1712	103.0	14.64	5.17	12.72	32.53	5.57	0.63	0.13	0.85	1.61	0.28	0.35	0.06	34.49	5.91
36年目	R 47	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1646	103.0	14.48	5.10	12.70	32.28	5.31	0.62	0.13	0.85	1.60	0.26	0.35	0.06	34.22	5.63
37年目	R 48	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1583	103.0	14.32	5.02	12.67	32.02	5.07	0.61	0.13	0.85	1.59	0.25	0.34	0.05	33.95	5.37
38年目	R 49	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1522	103.0	14.16	4.95	12.65	31.76	4.83	0.61	0.13	0.84	1.58	0.24	0.34	0.05	33.68	5.13
39年目	R 50	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1463	103.0	14.00	4.88	12.63	31.51	4.61	0.60	0.13	0.84	1.57	0.23	0.34	0.05	33.41	4.89
40年目	R 51	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1407	103.0	13.84	4.80	12.61	31.25	4.40	0.59	0.12	0.84	1.56	0.22	0.33	0.05	33.14	4.66
41年目	R 52	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1353	103.0	13.67	4.73	12.59	30.99	4.19	0.58	0.12	0.84	1.55	0.21	0.33	0.04	32.87	4.45
42年目	R 53	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1301	103.0	13.51	4.66	12.57	30.74	4.00	0.58	0.12	0.84	1.54	0.20	0.33	0.04	32.60	4.24
43年目	R 54	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1251	103.0	13.35	4.58	12.54	30.48	3.81	0.57	0.12	0.84	1.53	0.19	0.33	0.04	32.33	4.04
44年目	R 55	0.98775	0.98372	0.99826	0.98971	0.1203	103.0	13.19	4.51	12.52	30.22	3.64	0.56	0.12	0.83	1.52	0.18	0.32	0.04	32.06	3.86
45年目	R 56	0.98760	0.98345	0.99826	0.98960	0.1157	103.0	13.03	4.44	12.50	29.97	3.47	0.56	0.12	0.83	1.51	0.17	0.32	0.04	31.79	3.68
46年目	R 57	0.98744	0.98318	0.99826	0.98949	0.1112	103.0	12.87	4.36	12.48	29.71	3.30	0.55	0.11	0.83	1.50	0.17	0.32	0.04	31.52	3.50
47年目	R 58	0.98729	0.98289	0.99826	0.98938	0.1069	103.0	12.70	4.29	12.46	29.45	3.15	0.54	0.11	0.83	1.49	0.16	0.31	0.03	31.25	3.34
48年目	R 59	0.98712	0.98259	0.99825	0.98927	0.1028	103.0	12.54	4.22	12.44	29.20	3.00	0.54	0.11	0.83	1.47	0.15	0.31	0.03	30.98	3.18
49年目	R 60	0.98695	0.98228	0.99825	0.98915	0.0989	103.0	12.38	4.14	12.41	28.94	2.86	0.53	0.11	0.83	1.46	0.14	0.31	0.03	30.71	3.04
合計								816.83	297.17	647.22	1,761.22	561.38	34.93	7.71	43.15	85.80	27.09	19.31	6.21	1,866.33	594.68



便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 一般国道175号 西脇北バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 11	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.6756	103.0	20.16	7.80	13.39	41.35	27.93	0.86	0.20	0.89	1.96	1.32	0.47	0.31	43.77	29.57
1年目	R 12	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.6496	103.0	20.14	7.67	13.46	41.26	26.80	0.86	0.20	0.90	1.96	1.27	0.46	0.30	43.68	28.38
2年目	R 13	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6246	103.0	19.97	7.59	13.44	41.00	25.61	0.85	0.20	0.90	1.95	1.22	0.46	0.29	43.41	27.11
3年目	R 14	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.6006	103.0	19.81	7.52	13.41	40.75	24.47	0.85	0.20	0.89	1.94	1.16	0.46	0.27	43.14	25.91
4年目	R 15	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.5775	103.0	19.65	7.45	13.39	40.49	23.38	0.84	0.19	0.89	1.93	1.11	0.45	0.26	42.87	24.76
5年目	R 16	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.5553	103.0	19.49	7.37	13.37	40.23	22.34	0.83	0.19	0.89	1.92	1.06	0.45	0.25	42.60	23.66
6年目	R 17	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5339	103.0	19.33	7.30	13.35	39.98	21.34	0.83	0.19	0.89	1.91	1.02	0.45	0.24	42.33	22.60
7年目	R 18	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.5134	103.0	19.17	7.23	13.33	39.72	20.39	0.82	0.19	0.89	1.90	0.97	0.44	0.23	42.06	21.59
8年目	R 19	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.4936	103.0	19.00	7.15	13.30	39.46	19.48	0.81	0.19	0.89	1.89	0.93	0.44	0.22	41.79	20.63
9年目	R 20	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.4746	103.0	18.84	7.08	13.28	39.21	18.61	0.81	0.18	0.89	1.88	0.89	0.44	0.21	41.52	19.71
10年目	R 21	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4564	103.0	18.68	7.01	13.26	38.95	17.78	0.80	0.18	0.88	1.86	0.85	0.43	0.20	41.25	18.83
11年目	R 22	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4388	103.0	18.52	6.93	13.24	38.69	16.98	0.79	0.18	0.88	1.85	0.81	0.43	0.19	40.98	17.98
12年目	R 23	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4220	103.0	18.36	6.86	13.22	38.44	16.22	0.79	0.18	0.88	1.84	0.78	0.43	0.18	40.71	17.18
13年目	R 24	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.4057	103.0	18.20	6.79	13.20	38.18	15.49	0.78	0.18	0.88	1.83	0.74	0.42	0.17	40.44	16.41
14年目	R 25	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.3901	103.0	18.04	6.71	13.17	37.92	14.79	0.77	0.17	0.88	1.82	0.72	0.42	0.16	40.17	15.67
15年目	R 26	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.3751	103.0	17.87	6.64	13.15	37.67	14.13	0.76	0.17	0.88	1.81	0.68	0.42	0.16	39.90	14.97
16年目	R 27	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3607	103.0	17.71	6.57	13.13	37.41	13.49	0.76	0.17	0.88	1.80	0.65	0.41	0.15	39.63	14.29
17年目	R 28	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3468	103.0	17.55	6.49	13.11	37.15	12.88	0.75	0.17	0.87	1.79	0.62	0.41	0.14	39.36	13.65
18年目	R 29	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3335	103.0	17.39	6.42	13.09	36.90	12.30	0.74	0.17	0.87	1.78	0.59	0.41	0.14	39.09	13.04
19年目	R 30	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3207	103.0	17.23	6.35	13.07	36.64	11.75	0.74	0.16	0.87	1.77	0.57	0.40	0.13	38.82	12.45
20年目	R 31	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.3083	103.0	17.07	6.27	13.04	36.38	11.22	0.73	0.16	0.87	1.76	0.54	0.40	0.12	38.55	11.88
21年目	R 32	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.2965	103.0	16.90	6.20	13.02	36.13	10.71	0.72	0.16	0.87	1.75	0.52	0.40	0.12	38.28	11.35
22年目	R 33	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.2851	103.0	16.74	6.13	13.00	35.87	10.23	0.72	0.16	0.87	1.74	0.50	0.39	0.11	38.01	10.84
23年目	R 34	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2741	103.0	16.58	6.05	12.98	35.61	9.76	0.71	0.16	0.87	1.73	0.47	0.39	0.11	37.74	10.34
24年目	R 35	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2636	103.0	16.42	5.98	12.96	35.36	9.32	0.70	0.16	0.86	1.72	0.45	0.39	0.10	37.47	9.88
25年目	R 36	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2534	103.0	16.26	5.91	12.94	35.10	8.89	0.70	0.15	0.86	1.71	0.43	0.38	0.10	37.20	9.43
26年目	R 37	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2437	103.0	16.10	5.83	12.91	34.84	8.49	0.69	0.15	0.86	1.70	0.41	0.38	0.09	36.92	9.00
27年目	R 38	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2343	103.0	15.94	5.76	12.89	34.59	8.10	0.68	0.15	0.86	1.69	0.40	0.38	0.09	36.65	8.59
28年目	R 39	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2253	103.0	15.77	5.69	12.87	34.33	7.73	0.67	0.15	0.86	1.68	0.38	0.37	0.08	36.38	8.20
29年目	R 40	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2166	103.0	15.61	5.61	12.85	34.07	7.38	0.67	0.15	0.86	1.67	0.36	0.37	0.08	36.11	7.82
30年目	R 41	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2083	103.0	15.45	5.54	12.83	33.82	7.04	0.66	0.14	0.86	1.66	0.35	0.37	0.08	35.84	7.47
31年目	R 42	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.2003	103.0	15.29	5.47	12.81	33.56	6.72	0.65	0.14	0.85	1.65	0.33	0.36	0.07	35.57	7.13
32年目	R 43	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.1926	103.0	15.13	5.39	12.78	33.30	6.41	0.65	0.14	0.85	1.64	0.32	0.36	0.07	35.30	6.80
33年目	R 44	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.1852	103.0	14.97	5.32	12.76	33.05	6.12	0.64	0.14	0.85	1.63	0.30	0.36	0.07	35.03	6.49
34年目	R 45	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1780	103.0	14.80	5.24	12.74	32.79	5.84	0.63	0.14	0.85	1.62	0.29	0.35	0.06	34.76	6.19
35年目	R 46	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1712	103.0	14.64	5.17	12.72	32.53	5.57	0.63	0.13	0.85	1.61	0.28	0.35	0.06	34.49	5.91
36年目	R 47	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1646	103.0	14.48	5.10	12.70	32.28	5.31	0.62	0.13	0.85	1.60	0.26	0.35	0.06	34.22	5.63
37年目	R 48	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1583	103.0	14.32	5.02	12.67	32.02	5.07	0.61	0.13	0.85	1.59	0.25	0.34	0.05	33.95	5.37
38年目	R 49	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1522	103.0	14.16	4.95	12.65	31.76	4.83	0.61	0.13	0.84	1.58	0.24	0.34	0.05	33.68	5.13
39年目	R 50	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1463	103.0	14.00	4.88	12.63	31.51	4.61	0.60	0.13	0.84	1.57	0.23	0.34	0.05	33.41	4.89
40年目	R 51	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1407	103.0	13.84	4.80	12.61	31.25	4.40	0.59	0.12	0.84	1.56	0.22	0.33	0.05	33.14	4.66
41年目	R 52	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1353	103.0	13.67	4.73	12.59	30.99	4.19	0.58	0.12	0.84	1.55	0.21	0.33	0.04	32.87	4.45
42年目	R 53	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1301	103.0	13.51	4.66	12.57	30.74	4.00	0.58	0.12	0.84	1.54	0.20	0.33	0.04	32.60	4.24
43年目	R 54	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1251	103.0	13.35	4.58	12.54	30.48	3.81	0.57	0.12	0.84	1.53	0.19	0.33	0.04	32.33	4.04
44年目	R 55	0.98775	0.98372	0.99826	0.98971	0.1203	103.0	13.19	4.51	12.52	30.22	3.64	0.56	0.12	0.83	1.52	0.18	0.32	0.04	32.06	3.86
45年目	R 56	0.98760	0.98345	0.99826	0.98960	0.1157	103.0	13.03	4.44	12.50	29.97	3.47	0.56	0.12	0.83	1.51	0.17	0.32	0.04	31.79	3.68
46年目	R 57	0.98744	0.98318	0.99826	0.98949	0.1112	103.0	12.87	4.36	12.48	29.71	3.30	0.55	0.11	0.83	1.50	0.17	0.32	0.04	31.52	3.50
47年目	R 58	0.98729	0.98289	0.99826	0.98938	0.1069	103.0	12.70	4.29	12.46	29.45	3.15	0.54	0.11	0.83	1.49	0.16	0.31	0.03	31.25	3.34
48年目	R 59	0.98712	0.98259	0.99825	0.98927	0.1028	103.0	12.54	4.22	12.44	29.20	3.00	0.54	0.11	0.83	1.47	0.15	0.31	0.03	30.98	3.18
49年目	R 60	0.98695	0.98228	0.99825	0.98915	0.0989	103.0	12.38	4.14	12.41	28.94	2.86	0.53	0.11	0.83	1.46	0.14	0.31	0.03	30.71	3.04
合計								816.83	297.17	647.22	1,761.22	561.38	34.93	7.71	43.15	85.80	27.09	19.31	6.21	1,866.33	594.68

路線名	箇所名	車線数	延長
国道175号	西脇北バイパス	4	5.2km

## ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				33,451	
	改良費				6,417	
		土工	m <sup>3</sup>	546,700	1,031	
		軟弱地盤改良工	式	1	2,494	
		法面工	m <sup>2</sup>	12,920	75	
		擁壁工	式	1	1,242	
		函渠工	m	973	222	
		雑工	式	1	1,353	
	橋梁費				19,482	
		100m以上	m	5,619	19,482	
		100m未満	m			
	トンネル費				6,036	
		NATM	m	1,571	6,036	
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,396	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	151,150	1,309	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	22,530	87	
	付帯施設費				120	
		交通管理施設工	式	1	120	通信管路工等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				8,260	
	用地費		m <sup>2</sup>	173,461	5,395	
		宅地	m <sup>2</sup>	14,198	726	
		田畑	m <sup>2</sup>	97,882	3,232	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	61,381	1,437	
	補償費		式	1	2,865	
③	間接経費		式	1	6,289	地質調査、測量、設計にかかる費用等
	全体事業費				48,000	

## 事業全体

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道175号	西脇北バイパス	4	5.2km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.2	1,550	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	12,250	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			13,800	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
国道175号	西脇北バイパス	4	5.2km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					17,824	
	改良費				1,637	
		土工	m <sup>3</sup>	402,300	97	
		軟弱地盤改良工	式	1	756	
		法面工	m <sup>2</sup>	8,760	54	
		擁壁工	式	1	300	
		函渠工	m			
		雑工	式	1	430	埋蔵文化財調査、護岸工事
	橋梁費				12,298	
		100m以上	m	4,468	12,098	
		100m未満	m	312	200	
	トンネル費				2,419	
		NATM	m	815	2,419	
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,353	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	145,500	1,268	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	21,600	85	
	付帯施設費				117	
		交通管理施設工	式	1	117	通信管路工等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					87	
	用地費		m <sup>2</sup>			
		宅地	m <sup>2</sup>			
		田畑	m <sup>2</sup>			
		山林・原野	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	87	
③間接経費					3,672	地質調査、測量、設計にかかる費用等
全体事業費					21,583	

## 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道175号	西脇北バイパス	4	5.2km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.2	1,500	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	11,850	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			13,350	

## 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

国近整企画第45号  
令和元年 7月 9日

兵庫県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、令和元年8月1日(木)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、令和元年7月24日(水)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463



(別紙)

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道175号西脇北バイパス	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

土 第 1 2 4 9 号  
令和元年 7 月 2 3 日

近畿地方整備局長 様

兵庫県知事



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成  
に係る意見照会について（回答）

令和元年 7 月 9 日付け国近整企画第 4 5 号で照会のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

【道路事業】

〈一般国道175号西脇北バイパス〉

兵庫県知事の意見

一般国道175号西脇北バイパスは、中国自動車道滝野社ICと北近畿豊岡自動車道氷上ICを連絡する地域高規格道路「東播丹波連絡道路」の一部を形成する重要な道路である。

当該区間の国道175号現道は、2車線で、交通容量(12,907台/日)を大幅に上回る17,855台/日の交通量があり、朝夕の通勤時間帯には西脇市中心部への入口となる上戸田南交差点等で渋滞が発生している。

また、現道の死傷事故率は県内の一般国道の約1.3倍で、そのうち交通混雑が主な原因と考えられる追突事故が6割を占めることから、交通混雑の緩和、安全性の向上を図る西脇北バイパスの早期整備が喫緊の課題となっている。

平成29年4月、西脇北バイパス(仮)寺内ランプ隣接地に開設された西脇消防署西脇北出張所では、現道の渋滞により緊急車両の走行に苦慮しており、本バイパスの完成により、現場到着時間の短縮が期待できる。また、(仮)下戸田ランプ付近では、市役所新庁舎及び市民交流施設が令和2年度に完成予定であり、西脇市ではこれら施設を核とした中心市街地の活性化を図ることとしている。このため、沿線市からも早期完成の強い要望がある。

こうしたことから、より一層のコスト縮減に配慮していただきながら、安全で円滑な交通確保と地域の活性化に資する本バイパスの(仮)寺内ランプ～(仮)畑瀬ランプの令和元年度部分供用に続く早期全線供用に向けて引き続き取り組んでいただきたい。